

骨密度検査

【骨密度ってなに？】

骨を構成しているカルシウムを始めとしたミネラル類がどれくらい詰まっているかを表すもので、骨の強さを示す指標とされています。

【どんな検査？】

測定器に片方の足を乗せ検査します。測定自体にかかる時間は1分程度です。超音波を利用して測定するため、被爆の心配もなく、痛みもありません。

【検査で何がわかるの？】

骨密度を測定することで、

- ①骨粗しょう症の診断
- ②将来骨折する危険性が高いのかどうかの判断
- ③骨を強くするお薬を飲んでいる方の場合、治療効果の判定

をすることができます。

【かかとを測定する理由】

骨は皮質骨と海綿骨という組織で成り立っています。

骨を輪切りにした時、外側の密になった硬い骨が皮質骨、内側の網目状になった骨が海綿骨です。骨は常に代謝しており、海綿骨は表面積が大きいいため、代謝のスピードは皮質骨の約8倍です。閉経後の骨の減少は、代謝スピードが速い海綿骨の多い部位で早期に観察されますが、かかとの骨は、人間の骨の中で最も海綿骨が多い部位（海綿骨が90～95%）です。

したがって、かかとは骨折しては困る主要な骨（腰椎、大腿骨）に変化がみられる前に、骨の減少をとらえることができる部位なのです。

